

CDP質問書とスコアリング

CDP Worldwide-Japan
アソシエイト・ディレクター
榎堀 都



本資料は2021年度時点の情報に基づいて作成しています。
回答やスコアの取扱い、スコアリングの方針・手法について、2022年度以降変更がある可能性のあることをご了承ください。

CDPとは



- ▼ CDPは、2000年に英国で設立された**国際環境NGO**。CDP Worldwide-Japanは、日本法人として日本における取組を促進。
- ▼ 世界中の**機関投資家・購買企業の要請**を受けて、企業の**環境情報開示**を促進する活動を実施。
- ▼ ESG情報開示の「E」に関する**グローバルスタンダード**。2021年度は13,000社を超える企業がCDPに情報を開示。
- ▼ 世界中の機関投資家はCDPデータを**意思決定**に活用。

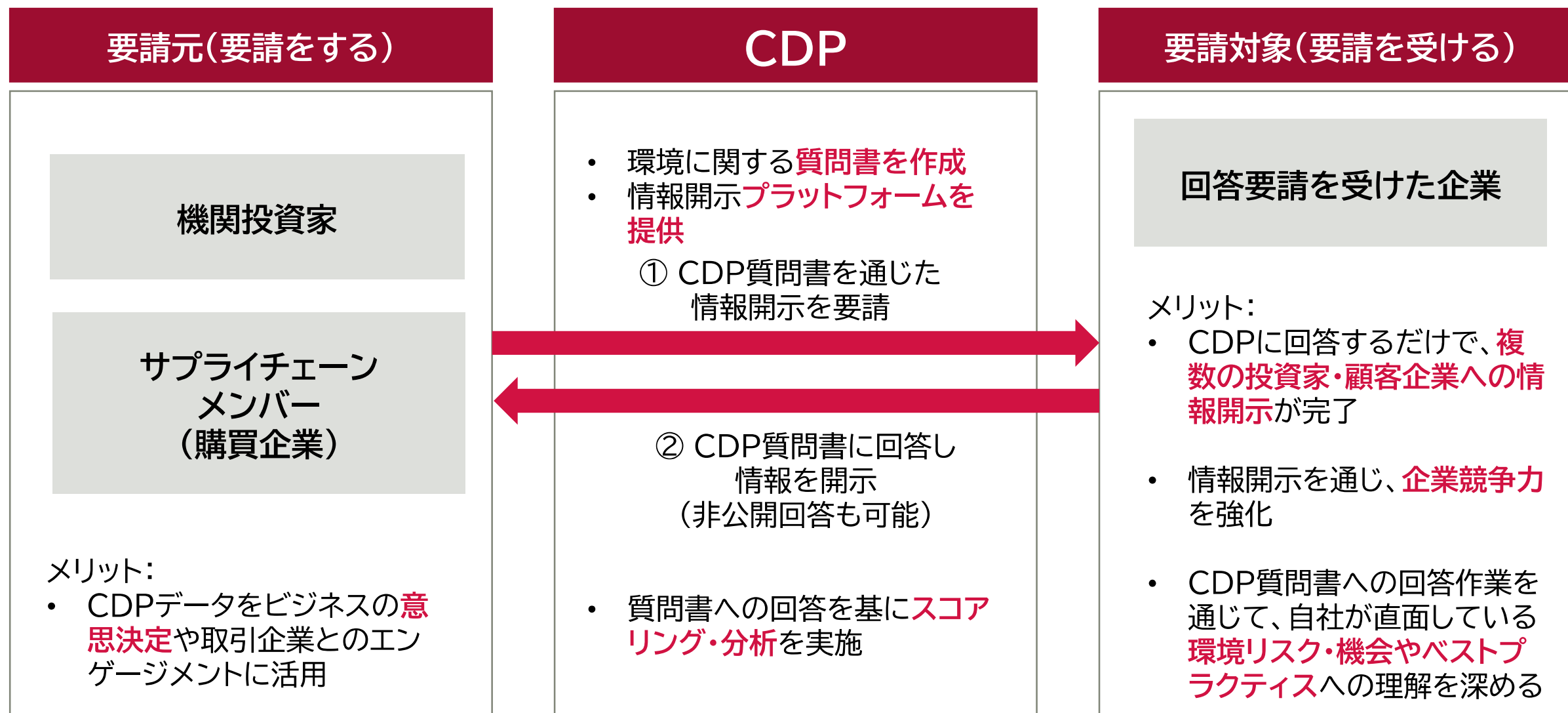
You can't manage what you don't measure.
測定していないものは管理できない

 **Disclosure**
情報を開示する

 **Insight**
知見を得る

 **Action**
行動に移す

CDPの情報開示システム



開示要請元① CDP署名投資家



2021年、投資運用総額**110兆米ドル**、**590**を超える投資家からの要請

| 日本の署名金融機関（28機関、2022年2月22日時点） | |
|------------------------------|----------------------|
| MS&ADインシュアランスグループホールディングス | 農林中央金庫 |
| SOMPOホールディングス | 富国生命投資顧問 |
| 東京海上ホールディングス | ニッセイアセットマネジメント |
| 住友生命 | 三井住友トラストアセットマネジメント |
| 明治安田生命保険 | りそなアセットマネジメント |
| かんぽ生命 | 日興アセットマネジメント |
| 野村ホールディングス | 東京海上アセットマネジメント |
| 大和証券グループ本社 | 三菱UFJ信託銀行 |
| 日本政策投資銀行 | 三井住友DSアセットマネジメント |
| みずほフィナンシャルグループ | 野村アセットマネジメント |
| 三井住友フィナンシャルグループ | アセットマネジメントOne |
| 三菱UFJフィナンシャルグループ | Hibiki Path Advisors |
| ゆうちょ銀行 | コモンズ投信 |
| 株式会社十六フィナンシャルグループ | オリックス株式会社 |

開示要請元② CDPサプライチェーンメンバー(顧客企業)

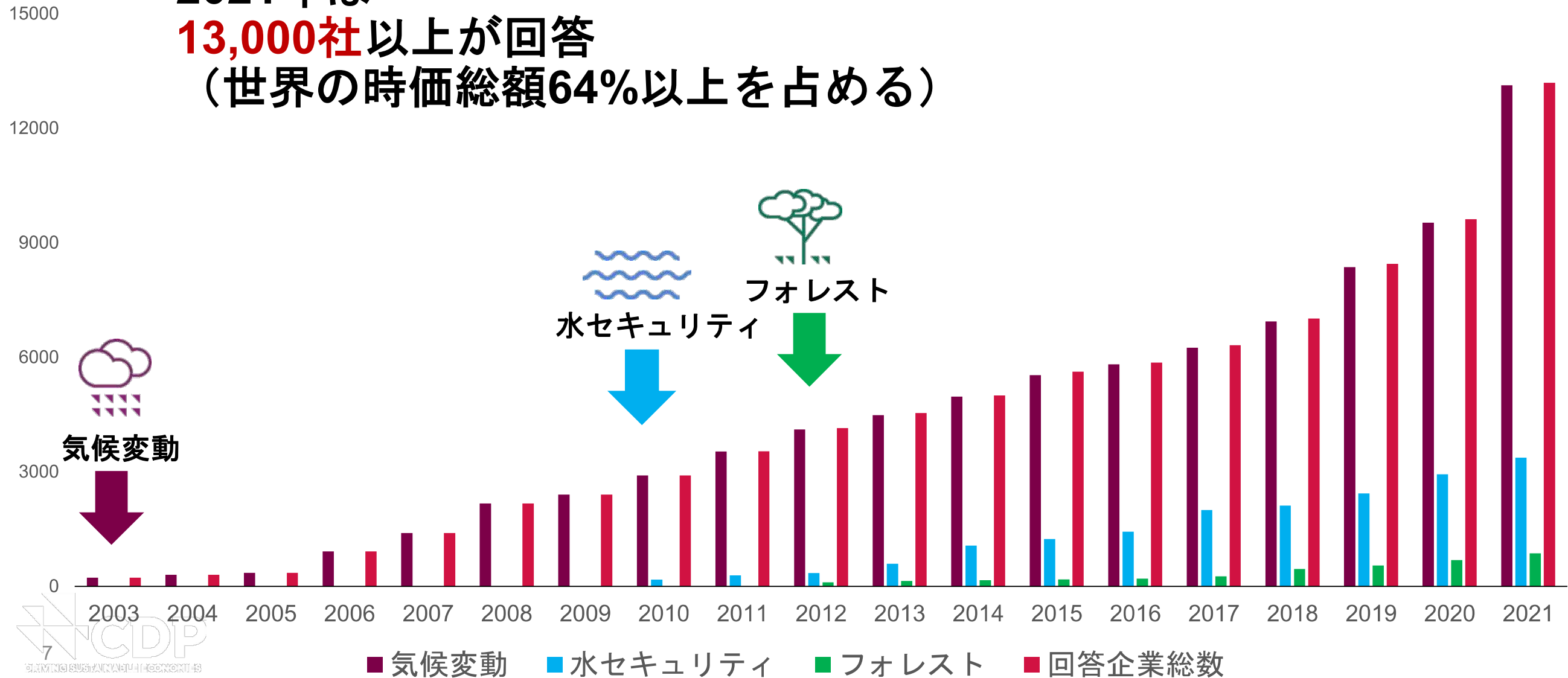
2021年、メンバー200+社、開示対象企業は23,000+社



CDP質問書回答企業数



2021年は
13,000社以上が回答
(世界の時価総額64%以上を占める)



CDP質問書の内容

気候変動



【主な質問】

- ガバナンス
- リスク・機会
- 事業戦略
- 目標と実績
- 排出量算定方法
- GHG排出量
- エネルギー
- カーボンプライシング
- エンゲージメント
- 生物多様性 **[新規質問]**

水セキュリティ



【主な質問】

- 現状
- ビジネスへの影響
- リスクと機会
- 施設別水のアカウンティング
- ガバナンス
- ビジネス戦略
- 目標

フォレスト



【主な質問】

- 現状
- リスクと機会
- ガバナンス
- 事業戦略
- 実施

<4つのコモディティ>:

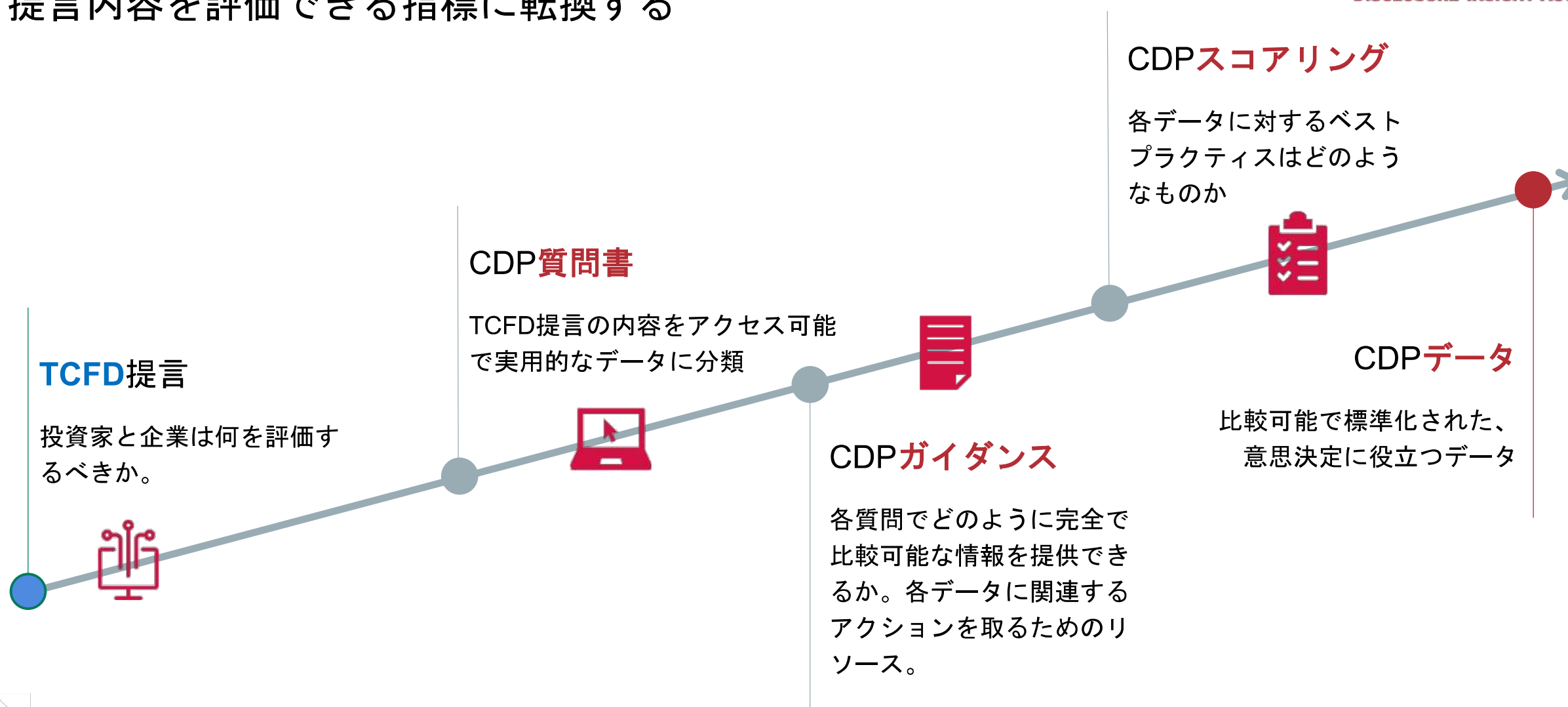
- ◆ 木材
- ◆ パーム油
- ◆ 牛製品
- ◆ 大豆

TCFD(気候変動関連財務
情報開示タスクフォース)の
提言に沿った質問内容

CDP質問書

グローバル基準に整合した質問書

提言内容を評価できる指標に転換する



CDP質問書の種類とスコアリング



| | | 質問書テーマ | | | |
|-----|---------|-------------|--------------------------|----------------|--------------|
| | | 気候変動 | | 水セキュリティ | フォレスト |
| 完全版 | 一般質問 | 気候変動 スコア | サプライヤー エンゲージメ ント評価 | 水セキュリティ スコア | フォレスト スコア |
| | セクター別質問 | | | | |
| 簡易版 | | 気候変動 スコア | | 水セキュリティ スコア | フォレスト スコア |

▼ 簡易版質問書

- 年間売上高が25,000 USD/EUR未満の中小企業向け質問
- 投資家からの要請のみに回答する場合、スコアリングされない
- 顧客からの要請に回答する場合、スコアリングされる
- 完全版質問書の中から質問項目を抜粋

▼ サプライヤーエンゲージメント評価

- 気候変動質問書の中で、サプライチェーン上流のエンゲージメントに関連する特定の質問のみを対象とした評価
- サプライチェーン上流のエンゲージメントに資する活動をどの程度行っているかをスコアリングの基準とする

CDP質問書への回答とスコアの公表／非公表



| | 回答内容 (企業が選択可。非公表の場合でも要請元には公表) | スコア | |
|-----------|----------------------------------|--------------------------|------------------|
| | | 気候変動 水セキュリティ フォレスト | サプライヤーエンゲージメント評価 |
| 投資家要請に回答 | 公表 | 公表 ² | 非公表 (Aのみ公開) |
| | 非公表 ¹ | | |
| 顧客要請のみに回答 | 公表 | 非公表 (Aのみ公開) | |
| | 非公表 ¹ | | |

¹ 回答内容を非公表にしている場合、最高評価のAリストには選定されない。
² CDPに初めて回答する企業に限って、スコアを非公表にすることが選択できる。

CDPスコアの理解



- 各質問に、情報開示、認識、マネジメント、リーダーシップレベルの評価が行われる。各レベルのスコアリング基準の詳細は開示されている。

【例：2021年のC1.1aの質問】

(C1.1a) 取締役会における気候関連課題の責任者の職位をお答えください (個人の名前は含めないでください)。

| 個人の職位 | 説明してください |
|---|-------------------------|
| <p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> 取締役会議長 取締役 最高経営責任者(CEO) 最高財務責任者(CFO) 最高執行責任者(COO) 最高調達責任者(CPO) 最高リスク管理責任者(CRO) 最高サステナビリティ責任者(CSO) 最高投資責任者(CIO) [金融サービスのみ] 最高財務責任者(CCO) [金融サービスのみ] 最高契約査定責任者(CUO) [金融サービスのみ] その他の経営幹部役員 社長 取締役会レベルの委員会 その他。具体的に教えてください | <p>文章記入欄[最大2,400文字]</p> |

情報開示評価基準

各列を記入:

- i) [個人の職位] - 1ポイント
- ii) [説明してください] - 1ポイント

認識スコアリング基準

1行のすべての欄に回答を記入 - 1ポイント

マネジメントスコアリング基準

マネジメントレベルでのポイントを獲得するには、情報開示ポイントが満点付与されている必要があります。

[説明してください]の欄に記入した回答文が[個人の職位]の欄で選択した選択肢と矛盾せず、回答が個人の責任と気候問題がどのように関連しているかの説明を行っている場合 - 2ポイント

リーダーシップ採点基準

リーダーシップレベルでのポイントを獲得するためには、マネジメントポイントが満点付与されている必要があります。

i) [個人の職位]の欄で以下のうちのいずれかが選択されている - 1ポイント。

- [取締役会議長]
- [取締役会レベルの委員会]
- [取締役]
- [最高経営責任者(CEO)]
- [最高財務責任者(CFO)]
- [最高執行責任者(COO)]
- [最高調達責任者(CPO)]
- [最高リスク管理責任者(CRO)]
- [最高サステナビリティ責任者(CSO)]
- [その他の経営幹部レベル役員]
- [社長]
- [最高投資責任者(CIO)] [金融サービスのみ]
- [最高財務責任者(CCO)] [金融サービスのみ]
- [最高契約査定責任者(CUO)] [金融サービスのみ]

基準i)で1ポイントが付与された場合:

ii) [説明してください]欄に以下の内容を記入することに対して、リーダーシップポイントが1ポイント付与されます: 個人/委員会が行った気候関連の意志決定の事例を1つ以上記入

| 情報開示レベルの得点 | 情報開示レベルの配点 | 認識レベルの得点 | 認識レベルの配点 |
|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 2 | 2 | 1 | 1 |
| マネジメントレベルの得点 | マネジメントレベルの配点 | リーダーシップレベルの得点 | リーダーシップレベルの配点 |
| 2 | 2 | 2 | 2 |

CDPスコアの理解



- ▼ CDPのスコアは回答すべき質問に対する得点率で算出する
 - 質問によって、どの選択肢を選択するかで後続く質問の内容やスコアリングが異なる

【例：2021年のC1.1の質問】

C1.1 組織内に気候関連問題の取締役会レベルの監督機関はありますか？

はい

C1.1a 取締役会における気候関連課題の責任者の職位をお答えください。

C1.1b 気候関連問題の取締役会の監督に関して詳細を記入してください。

いいえ

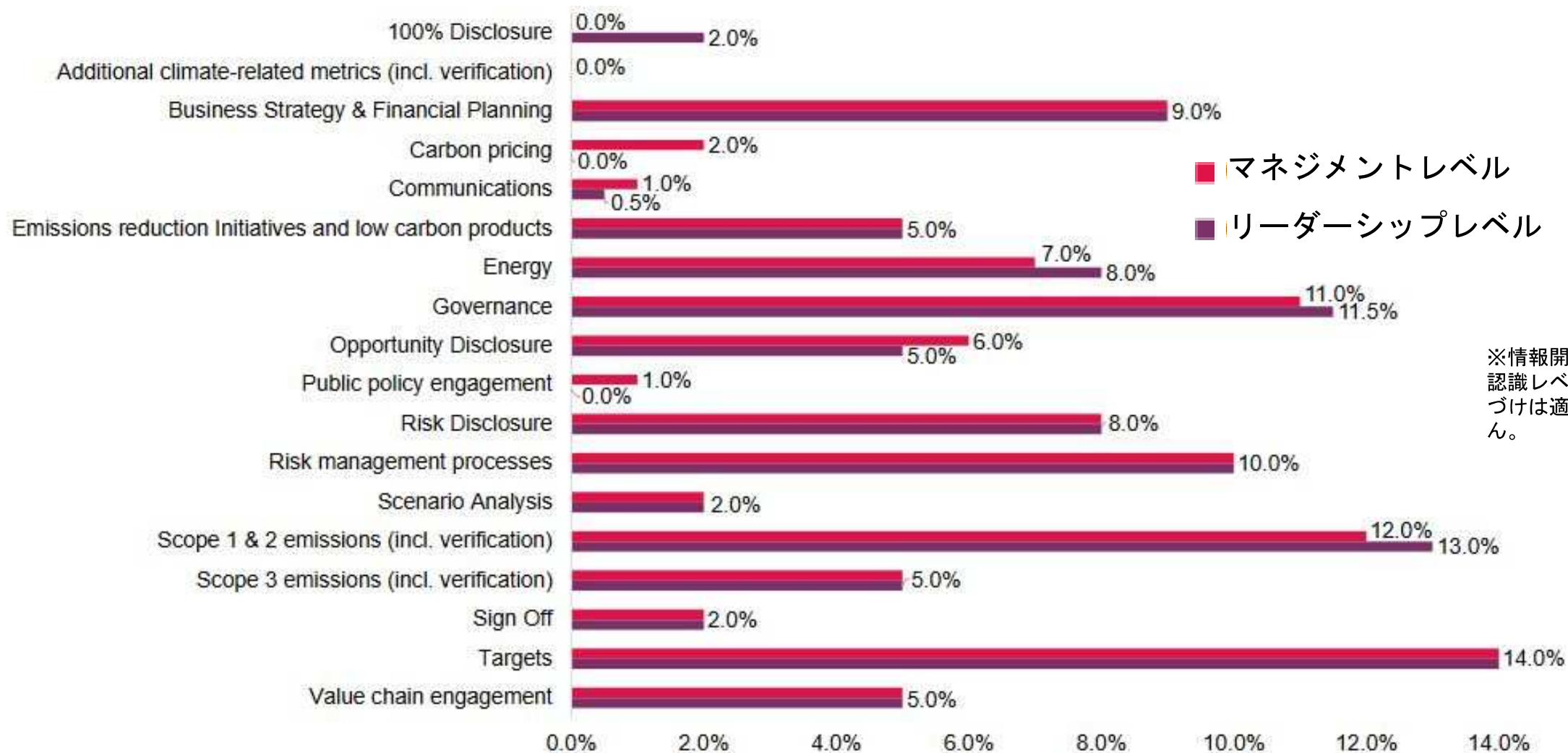
C1.1c

気候関連問題の取締役会レベルの監督がないのはなぜですか、そして将来これを変更する計画はどのようなものですか？

CDPスコアの理解



▼ 例：2021年時の気候変動質問書で、一般セクターに属する企業に適用される、各カテゴリーの重みづけ



※情報開示レベルと認識レベルでは重みづけは適用されません。

CDPスコアの理解

▼情報開示・認識スコア

全質問の得点合計 / 全質問の配点合計 × 100 (%)

▼マネジメント・リーダーシップスコア

Σ { 質問カテゴリーごとの得点合計 / 配点合計 × 質問カテゴリーのウェイト × 100 (%) }

| ガバナンスカテゴリー | マネジメント得点 | マネジメント配点 | ウェイト |
|------------|----------|----------|------|
| CC1.1 | 0 | 0 | 11% |
| CC1.1a | 2 | 2 | |
| CC1.1b | 1 | 1 | |
| CC1.1c | 0 | 0 | |
| CC1.2 | 1 | 3 | |
| CC1.2a | 1 | 2 | |
| CC1.3 | 1 | 1 | |
| CC1.3a | 1 | 2 | |

得点合計 = 7

配点合計 = 11

ガバナンスカテゴリーの
マネジメントスコア
= $7/11 \times 100 = 63.6(\%)$

ウェイトを考慮した
ガバナンスカテゴリーの
マネジメントスコア
= $63.6(\%) \times 11(\%) = 7(\%)$

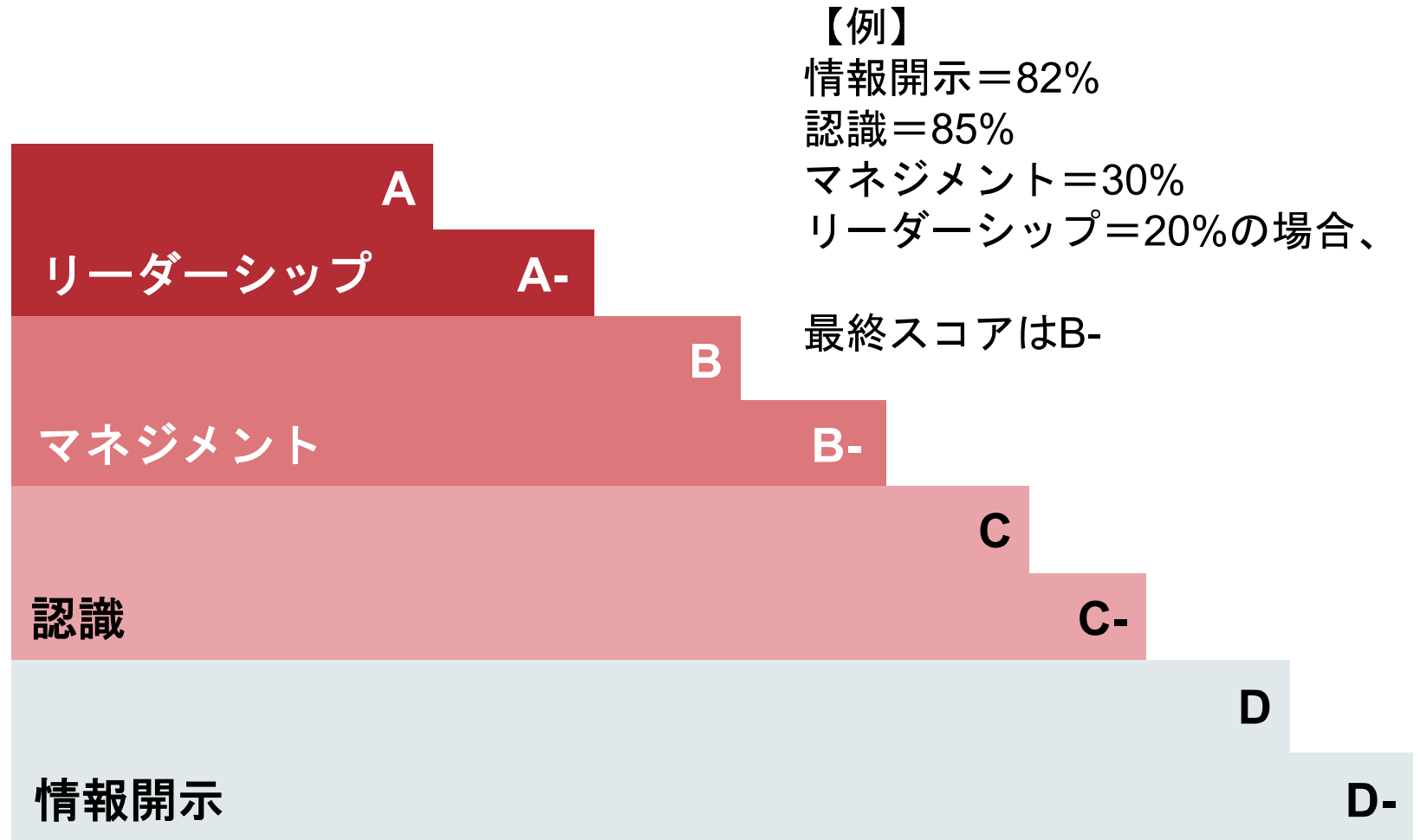
質問書全体の
マネジメントスコア
= ウェイトを考慮した各カテゴリーの
スコアの合計

CDPスコアの理解

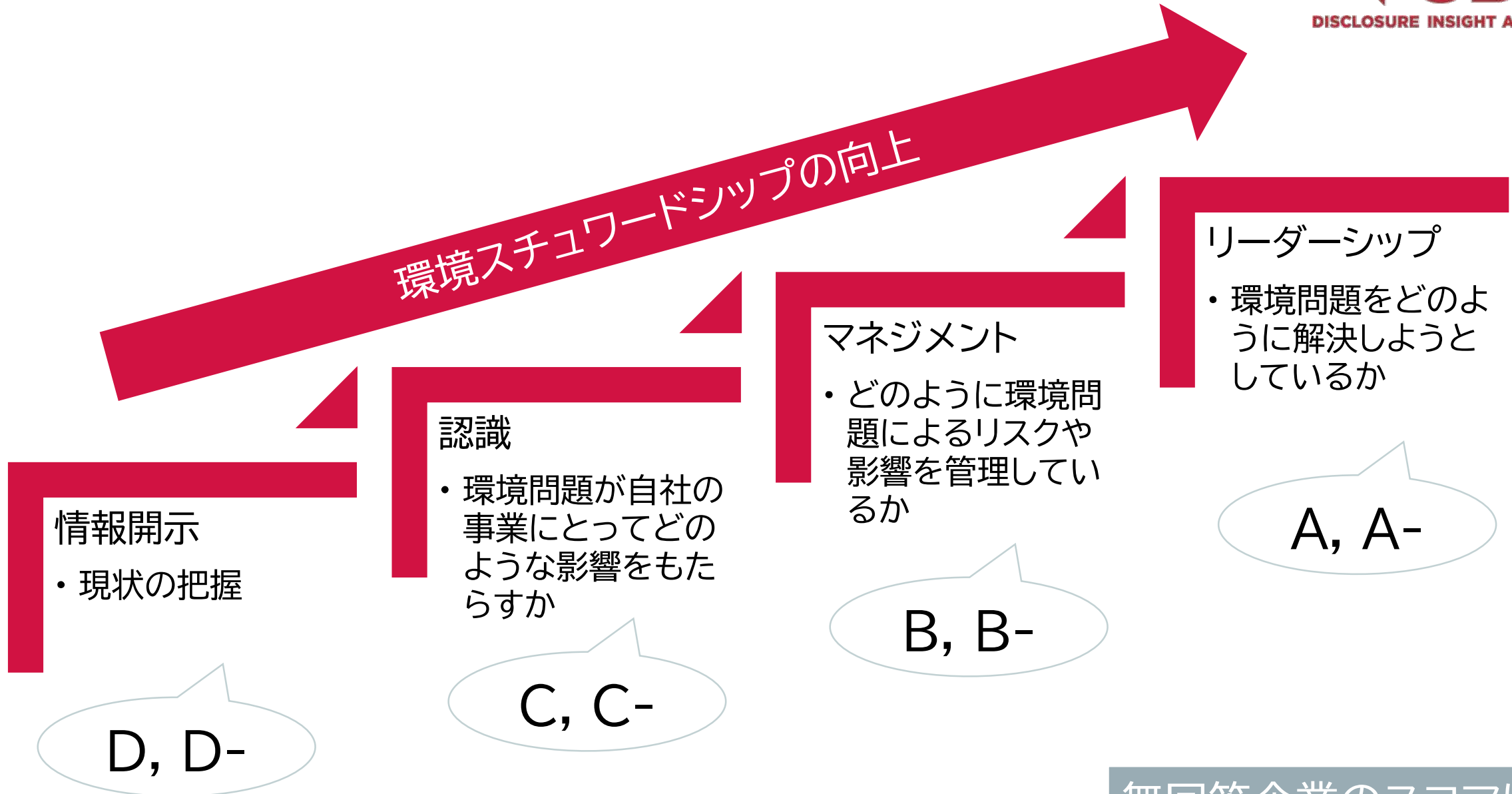


▼ 情報開示・認識・マネジメント・リーダーシップのスコアを算出し、各レベルの閾値に従って最終スコアが決定されます。

| 気候変動 | 水 セキュリティ | フォレスト |
|------|-------------|-------|
| | 65-100% | |
| | 1-64% | |
| | 45-74% | |
| | 1-44% | |
| | 45-79% | |
| | 1-44% | |
| | 45-79% | |
| | 1-44% | |



CDPスコアの意味



無回答企業のスコアはF

CDPスコアの意味



▼ A評価に求められる要件 (2021年)

| | 気候変動 | 水セキュリティ | フォレスト |
|--|------|---------|-------|
| 重要な範囲を報告除外対象に含めていない (C6.4, C6.4a, F0.6a, F0.7a, W0.6) | ✓ | ✓ | ✓ |
| スコープ 1 および 2 総排出量のそれぞれについて 70%以上の第三者検証を受けている (C10.1a, C10.1b) | ✓ | | |
| 最低限のリーダーシップポイントを獲得している (各プログラムにより異なる) | ✓ | ✓ | ✓ |
| 投資家要請質問書について回答を一般公開している | ✓ | ✓ | ✓ |
| すべての事業およびサプライチェーンにおいて、 包括的かつ徹底的なリスク評価が実施されていることを示す(F2.1a) | | | ✓ |
| 森林減少と森林劣化に関するコミットメントに対する 行動をとっている(F4.5, F4.6b, F6.1, F6.2, F6.3, F6.4, F6.8, F6.10) | | | ✓ |
| CDP スコアリングチームによるリーダーシップ関連 質問のマニュアルチェック | ✓ | ✓ | ✓ |
| RepRisk による評判リスク問題に関するチェック | ✓ | ✓ | ✓ |
| CDP 各国オフィスのチェック | ✓ | ✓ | ✓ |
| CDP スコアリング運営委員会の承認 | ✓ | ✓ | ✓ |

CDP回答事務費用（投資家要請に回答する企業のみ*）



| | 金額 | ベネフィット |
|-------------------------|--------------|--|
| Subsidized Contribution | 97,500円（+税） | オンラインツールを利用してCDP質問書に回答できる |
| Standard Contribution | 272,500円（+税） | |
| Enhanced Contribution | 650,000円（+税） | <ul style="list-style-type: none">• CDPサポーターとしてロゴ利用可、ウェブサイトに社名掲載• その他各種ベネフィットあり |

- ▼ いずれも、CDPが回答システムを運営、維持するための費用として寄付金（Contribution）としてお支払いいただいている。支払金額によって、回答可能なレベルや、スコアリングにおいて差はない。
- ▼ Subsidizedは、途上国など、Standardの支払いが何等かの事情により難しい企業向け。ただし、日本企業であってもこのメニューの選択を妨げることはない。
- ▼ Enhancedの場合、同業他社とのベンチマークレポートや、自社サプライヤーのスクリーニング実施など、開示・アクションに繋げるためのベネフィットを提供
- ▼ CDP質問書に初めて回答する企業は費用の支払いを免除

* 顧客企業にのみ回答する企業は支払は不要。（顧客企業側がメンバーシップフィーとしてCDP側にサプライヤーの回答事務費用を負担している）

CDPのスコアリングの特徴



- ▼ **独立性:** スコアリングは、CDPからトレーニングを受けた第三者機関（スコアリング・パートナー）によって実施されます。パートナーによって採点されたスコアは、厳しいチェック（クオリティ・アシュアランス）を受けた後、発表されます。
- ▼ **比較可能性:** CDPのスコアリング手法は、どの国の企業にとっても同等に適用されます。したがって、どの企業も同様に重要なアクションを示し、同じ情報を求められます。
- ▼ **透明性:** 回答ガイダンスやスコアリング手法はオンライン上で公開しています。またウェビナーやワークショップ等でも内容を説明しています。
- ▼ **広範性:** 2021年、世界中で1万社を超える回答のスコアを算出しました。
- ▼ **影響力:** 公表されたスコアは、CDPウェブサイトやレポートのほか、クイックやブルームバーグの株価情報端末やグーグルファイナンス、ドイツ証券取引所などにも掲載されており、機関投資家にも共有されています。また金融機関がCDPスコアを用いた金融商品（サステナビリティリンクローン）を組成するなど、活用が進んでいます。

CDPのスコアリング – 独立性

スコアリングにおける利益相反ポリシーを公開



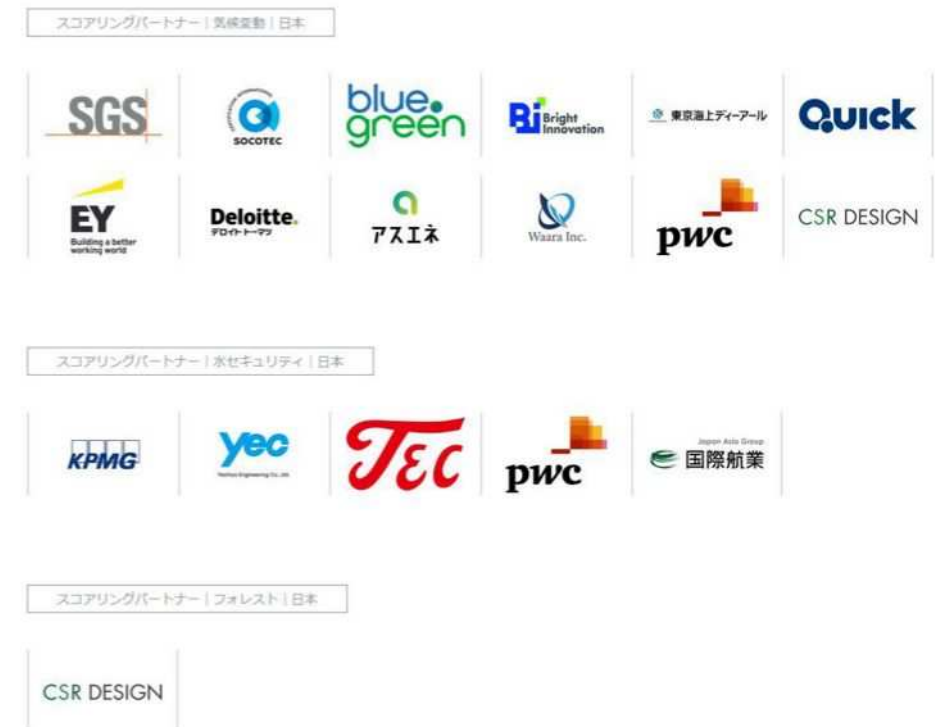
▼ スコアリングパートナー

- CDPからトレーニングを受けて実施。スコア済み結果もCDPがチェックを行うことで質の確保。
- クライアント企業リストをCDPに提示し、自社やクライアントのスコアリングは行わない。

▼ CDPスタッフ

- 企業回答の入力や修正は企業自身の責任の下で行う。（提出後の修正は、所定の修正フォームに入力し、CDPが修正の上、企業が修正内容を確認する。）
- CDPが実施する有料の回答企業向けサービス（レポーターサービス*）においては、スコアの保証は行わない。またこれに関与したスタッフは当該企業のスコアリングに関与しない。

【2021スコアリングパートナー（日本）】



* より良い情報開示を目指し、さらなるアクションに繋げるために企業をサポートする有料のプログラム。

CDPのスコアリング – 比較可能性



▼統一された質問書への回答のみで評価

- 統一された質問書に対して設定されたスコアリング基準に従って評価するため、一つのトピックについて企業間で評価の差異が少ない。
- 環境課題に対するセクター間の差異はセクター別質問書でカバーしており、グローバルで共通課題となっているテーマについて、国や企業の差異なくスコアリングする。

CDPのスコアリング – 透明性

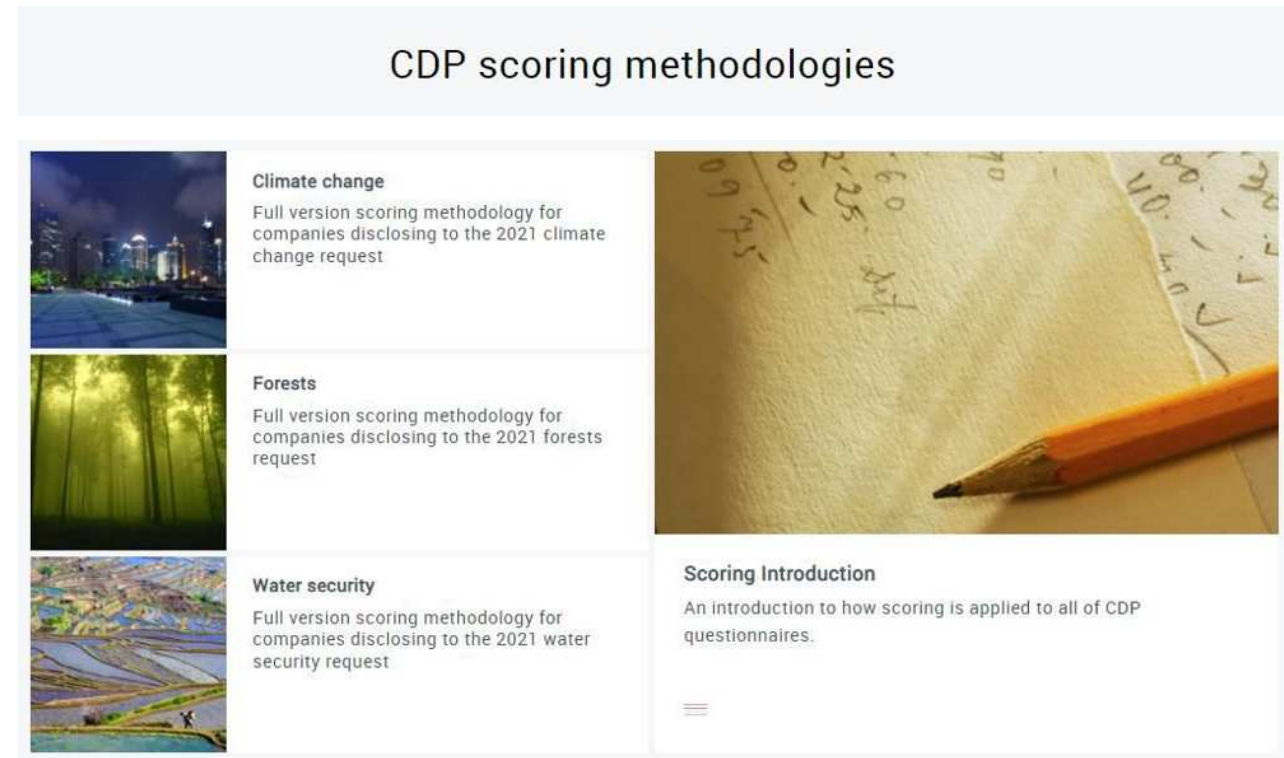


▼回答企業に対するサポート

- 回答ガイダンス、スコアリング基準等の公開（英語／日本語）
- 回答のためのワークショップ開催
- 事務局からのサポート（メールでのお問い合わせ）

▼スコアリング基準

- 質問書やスコアリング基準は世界の状況、様々なステークホルダーの声を反映して改訂する



<https://www.cdp.net/en/guidance/guidance-for-companies>

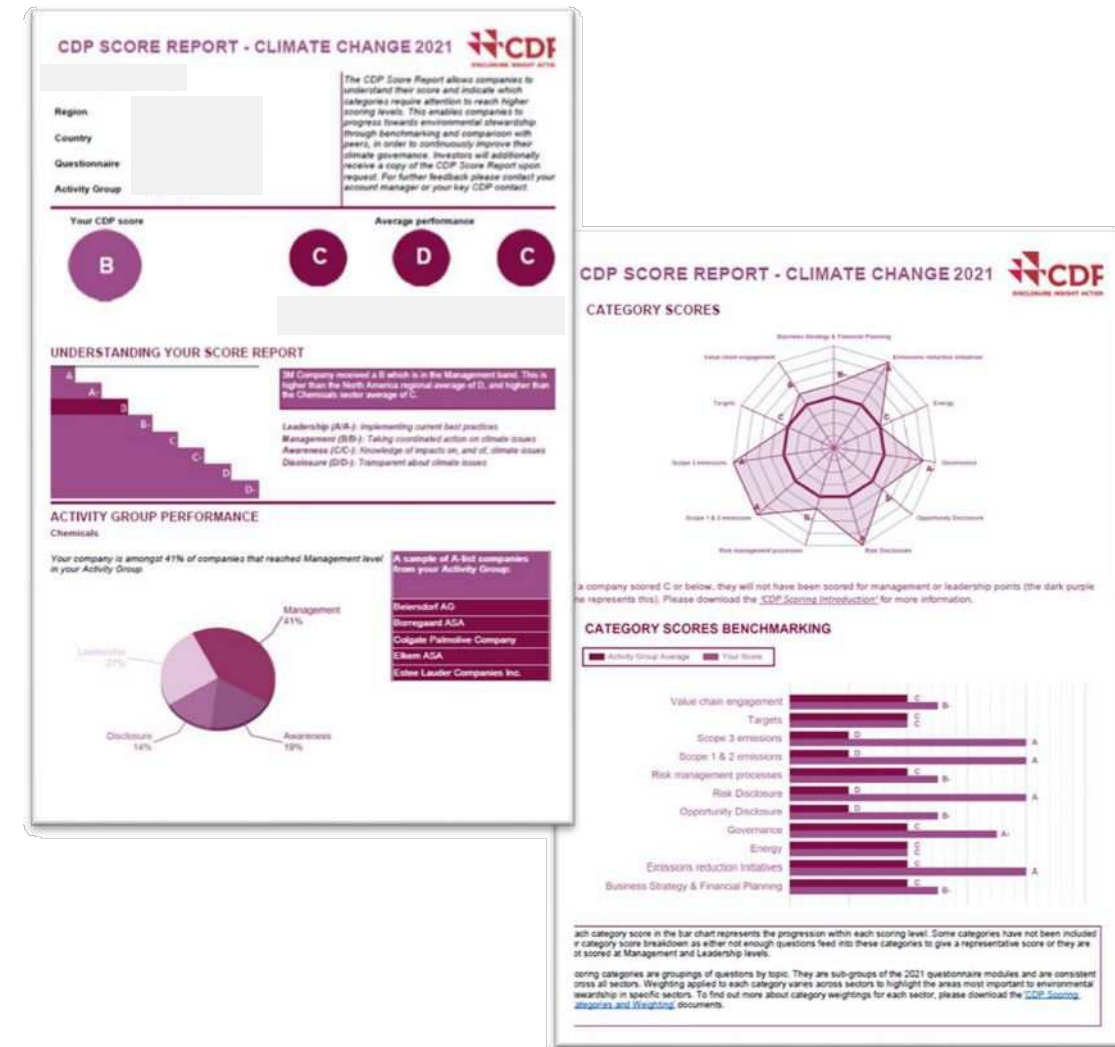
CDPのスコアリング – 評価企業とのコミュニケーション



▼ 回答企業に対するフィードバック

| | 料金 | 内容 |
|-------------------------|----|-----------------------------------|
| スコアレポート | 無料 | カテゴリースコアを通知 |
| フィードバックコール (60分/30分) | 有料 | スコアレポートの内容に基づき、フィードバックを行う |
| ギャップ分析 | 有料 | スコアリング基準に沿って、個別質問ごとに詳細なフィードバックを行う |

【スコアレポート】



* いずれのフィードバックにおいても、個別質問のスコアは開示しない

CDPのスコアリング – 評価企業とのコミュニケーション



▼無回答企業に対する、投資家からのエンゲージメント (ノン・ディスクロージャー・キャンペーン)

- 前年度無回答の企業に対して、CDP署名機関の中でさらにエンゲージメントを強めたい機関が協働してエンゲージメントレターを送付
- 協働エンゲージメントの手法で、CDPへの回答を促進する。
- 本キャンペーン対象となった企業は、そうでない企業よりも、2倍以上の確率でCDPに回答している

【2021キャンペーン結果レポート】
(英語版 日本語版は作成中)



CDPのスコアリング – 回答の質



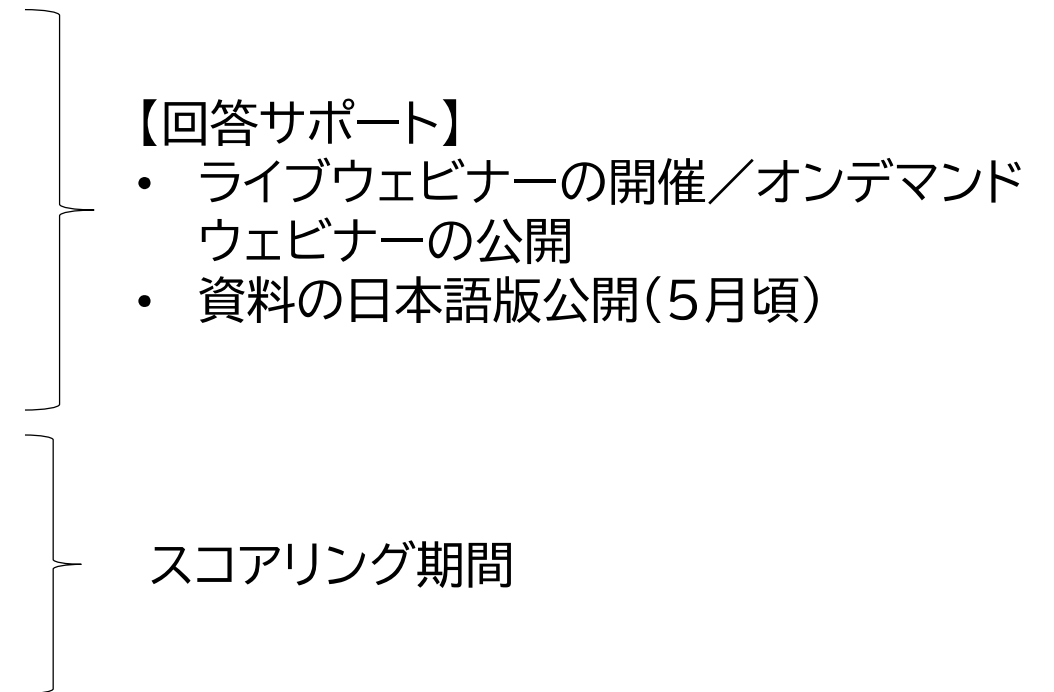
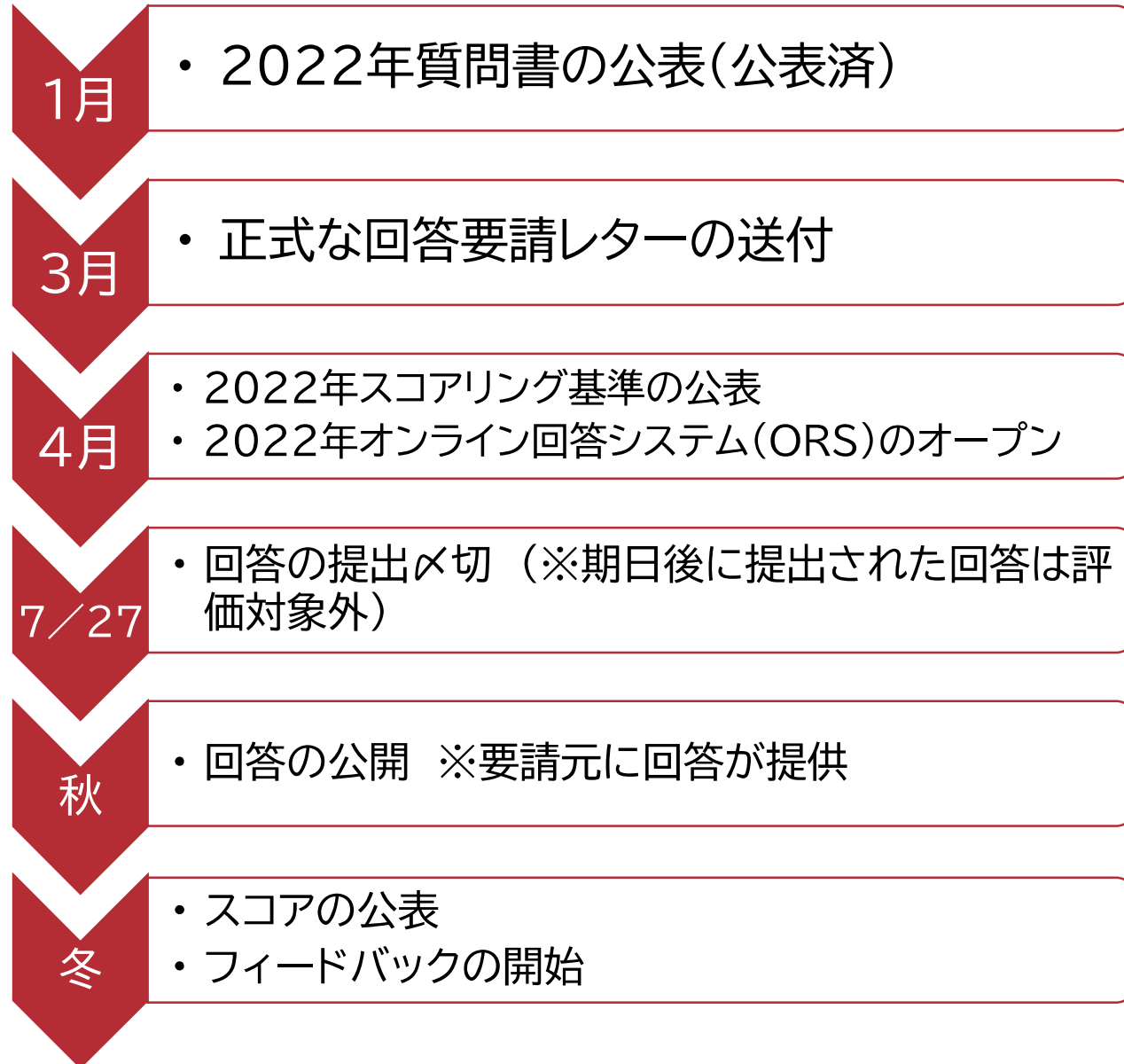
▼ CDPや第三者が企業回答を検証したり、信頼性を担保していない

⇒投資家・金融機関などのデータ利用者が積極的に活用し、エンゲージメントによって企業の開示の質を高めることを期待している。

▼ GHG排出量データについては、第三者検証を求めることで報告内容の正確性を向上させる

- GHG排出量の検証には国際的に確立した仕組み、検証基準がある。
- スコープ1, 2排出量について、報告排出量に重要なバウンダリーの除外がなく、その排出量70%以上をカバーした検証を取得している場合、最高評価（気候変動Aリスト要件）

CDP2022スケジュール ※毎年若干前後する場合があります。





CDP Worldwide-Japan

Address:東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



japan.cdp.net (日本語サイト)



お問い合わせ : japan@cdp.net

本資料は2021年度時点の情報に基づいて作成しています。

回答やスコアの取扱い、スコアリングの方針・手法について、2022年度以降変更がある可能性があることをご了承ください。